

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
音楽業界研究 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	内村佳代子			実務 経験	有	職種	ビジネスマナー講師				
授業概要											
著作権（概要、考え方、二次創作、判例、JASRAC問題等）、ネットで話題になっている新技術や世の中の動き、Webサイト構築やSNS活用、契約書の基礎などの音楽ビジネスにおいて必要な知識を得て、これからの音楽生活に著作権がいかに関わっていて、自分の身を守ってくれるものであることを理解することを目標としている。卒業すると著作物で収入を得ていく学生も少なくない為、著作権の知識をつけることで音楽家としての生活を送ることができるようになることを様々な例題と共に教えて行く。実際の契約書に触れることで、音楽メーカー、事務所から提示される契約書に対して、平常心で読むことができるような知識を育む。											
到達目標											
著作権に対して、意識のない学生がほとんどであるが、はじめは様々な著作権の種類を覚えることから始める。自分の音楽生活とは切っても切れない密接な権利であることを認知させる。ミュージシャンの収入の得る方法は一つではないこと、JASRACからの印税、印税を得るために不可欠な契約書の重要性を教える。近年のネットビジネスの基礎知識（音楽の情報発信）。年度末に行われる確定申告もミュージシャンとして生活していく為には、重要であることを理解させる授業にしていきたい。											
授業方法											
著作権の知識を中心としながら、法律・判例のわかりやすい解説、実例の紹介、ワークシートによる理解度の確認を反復していく。座学ばかりでは退屈していく為、映像を使用したり、グループワークなどを展開し、授業をアレンジしていく。学生自身を成功している音楽家役としてロールプレイング授業も展開していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会に出れば交通機関が乱れようとも仕事に遅れないことが基本であるため、その認識を高める。また一般常識問題に関しては知らない単語や言葉が出てくることもしばしばあり、その目分からなかったことは講義にあたる講師に確認したり、自ら調べることを怠ってはいけない。コミュニケーション力を重視するため、仲が良い学生だけではなく普段関わりの薄い学生とも交流を持ち、視野を広げること。毎回配布するワークシートを前後期試験の対策として活用すること教科書等はないので、ワークシートやプリント資料、スライド資料等を積極的に活用すること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	当講義オリエンテーション、授業の目的、音楽ビジネスに必要な著作権概要・導入										
第2回	概要、種類、発生と登録手続き、有効期限、時事問題										
第3回	共同著作、法人著作、著作人格権（おふくろさん問題）										
第4回	外国人の著作物、著作権侵害への対抗措置										
第5回	著作物として認められる事例										
第6回	JASRACと音楽教室の問題①										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
音楽業界研究 1	
第7回	JASRACと音楽教室の問題②
第8回	アレンジやカバー曲の話、パブリックドメイン
第9回	プレイヤーサイドの話、著作権隣接権
第10回	概要、業務内容、信託、包括契約等
第11回	JASRAC について知る (2) (信託契約、新規著作権管理団体)
第12回	JASRAC について知る (3) (様々な立場から考えるJASRAC)
第13回	アーティストとメーカー、プロダクション、その歴史と変化
第14回	印税計算入門
第15回	前期対策試験